

学校長あいさつ



子どもたち一人ひとりに、「夢」と「希望」を育む

校長 石川 信和

「おはようございます。」

登校してくる子どもたち、保護者や地域の皆様、教職員、それぞれの素敵なあいさつで、学校は目覚めます。一日の始まりです。

桜木小学校は、鉄道のまち「大宮」の発展と共に、明治35年に開校された、今年で116年目の歴史と伝統のある学校です。

本年度は、児童数492人、学級数17学級（特別支援学級2学級を含む）でスタートしました。

《桜木小学校の教育目標》

「力いっぱい・やさしく、かしこく、たくましく」
○やさしく・・・～思いやりのある心豊かな子～
○かしこく・・・～自ら進んで学びとる子～
○たくましく・・・～心身ともにたくましい子～
「知・徳・体・コミュニケーション」の調和のとれた人間性と、未来を切り拓く力を身につけた子どもたちを育てたいと強く思っています。

ところで、私は、子どもたちの「できたよ！」
「わかったぞ!!」「すごい!」「もっとやってみよう」といった心踊る思いや言葉が大好きです。お家に帰り、「かけ算の仕組みがわかったよ。」「『おはようございます』のあいさつがたくさんできたよ。」「逆上がりが3回もできたんだ。」「お友だちとケンカしちゃったけど、仲直りできたんだよ。」などと真っ先に報告できる子どもたちを育てたいと願っています。そして、この「できた」「がんばった」という思いをできるだけ多くの子どもたちが味わい、毎日の学校生活を『夢』と『希望』に満ちて送ることができるよう教職員一丸となって教育活動に邁進する所存でございます。

どうぞ子どもたち一人ひとりが主人公の、安全・安心で、温かくてさわやかな学校づくりに、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。